

この様式は、実務経験等で特定建設業の専任技術者又は監理技術者になる場合に必要。

建設工事の設計又は施工の全般について、工事現場主任又は工事現場監督のような資格で工事の技術面を総合的に指導監督経験のもの。

様式第十号（第十三条関係）

指導監督の実務経験証明書

証明者は被証明者の使用者である法人の代表者又は個人の事業主とする。法人成りがあった場合は、会社が設立される前の経験は個人の事業主として証明する。

下記の者は、

水道施設施設

工事に関し、下記の元請工事について指導監督的な実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和 ○年 ○月 ○日

建設工事の区分を記入する。

この経験は、発注者から最初の元請人として請け負った建設工事に関する経験であり、注文者の側における経験又は下請人としての経験は、これに含まれない。

証明者

高知市丸ノ内1-2-20
高知建設業 株式会社
代表取締役 高知 次郎

証明者印を押印する。

元請人として請負った契約の相手方の名称を記入する。

記

被証明者との関係

社員

証明者の立場からみた被証明者との関係を記入する。
(例) 役員、社員、使用人

技術者の氏名	竹内 健		生年月日	S31.10.28	使用された期間	H 3年 4月から H 19年 6月まで
使用者の商号又は名称	高知建設業 株式会社					
発注者名	請負代金の額	職名	実務経験の内容		実務経験年数	
高知市	136,000 千円	工事現場主任	朝倉地区給水管設置工事		H13年 6月から H14年 4月まで	
南国市	85,000 千円	〃	物部地区給水管設置工事		H14年 8月から H15年 3月まで	
土佐市	93,500 千円	工事課長	高岡地区給水管設置工事		H15年 5月から H16年 4月まで	
高知市	158,500 千円	〃	下地地区給水管設置工事		H16年 7月から H17年 5月まで	
	千円					
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円				年 月から 年 月まで	
	千円		各工事の期間の合計を記入し、2年以上になること。		年 月から 年 月まで	
使用者の証明を得ることができない場合その理由						合計 満 年

1件の請負代金が4,500万円（H6.12.28以前は3,000万円、さらにS59.10.1以前は1,500万円）以上の元請工事代金を記入する。
(消費税を含む)

各経験年数の始まりの月は計算しない。
(経験年数を確実に読めるようにするため)
(例) H15年5月からH16年4月まで→11月分となる。
H16年7月からH17年5月まで→10月分となる。

実際に雇用されていた期間を記入する。

記載要領

- この証明書は、許可を受けようとする建設業に係る建設工事の種類ごとに、被証明者1人について、証明者別に作成し、請負代金の額が4,500万円以上の建設工事（平成6年12月28日前の建設工事にあつては3,000万円以上のもの、昭和59年10月1日前の建設工事にあつては1,500万円以上のもの）1件ごとに記載すること。
- 「職名」の欄は、被証明者が従事した工事現場において就いていた地位を記載すること。
- 「実務経験の内容」の欄は、従事した元請事名等を具体的に記載すること。
- 「合計 満 年 月」の欄は、実務経験年数の合計を記載すること。

※確認資料として、被証明者が主任技術者、工事現場主任又は工事現場監督のような資格で工事の技術面を総合的に指導監督経験した実務経験がわかる年数分の建設工事の内容、請負金額及び工事期間が確認できる工事契約書、請書又はCORINS 登録内容確認書の写し又はCORINS竣工時受領書及び工事カルテの写し等を提出すること。